



# あ さ い ち

あいさつ

さわやか

いつでも

ちいきと

旭一中だより

第10号

令和元年11月1日

旭市立第一中学校

【教育目標】 持ち味をいかして主体的に行動する生徒の育成

先週はあさいち祭へのご来校ありがとうございました。平日でしかも大雨にもかかわらず全校の約7割の保護者の方が来てくださいました。荒天の中でも旭一中の体育館は生徒たちのパワーに満ちあふれ、今年も元気いっぱい躍動する多くの姿を見ることができました。



“達成感”という言葉は作文用の言葉だと思っていたけど、私は実行委員としての活動を通して、目には見えなくてもはっきりとした“達成感”をあげることができた。大変なことは多くあった気がするが、たくさんの方が笑ってオープニングなどを見てくれたことで何が大変だったか忘れた。創る側としても観る側としても楽しめる、忘れられない日になったことは間違いない。 さん

中学校最後のあさいち祭は、うれしく、でもさびしく終わりました。理由は、吹部としてのラストステージだったからです。また、3年生だけで演奏した最初で最後のステージでもありました。まだまだみんなと吹きたいと思いましたが、時間は許してくれず、悲しくなりました。 さん

「虹」という曲は、内山先生にも本番までに完成させるのは難しいと言われた曲で心配でした。でも、パート練習ではみんなが、どこを直したらよいか、ここはどんな気持ちで歌えばよいかなどしっかり考えて協力してくれ、最優秀賞となりました。成績発表でイントロが流れてきたときは、うれしすぎて初めてあんなに叫びました！ さん

1日裏方で、みんなと観たりとかはできなかったけど、会場を動かしたり指示したりしてとてもよい経験になった。最後の合唱では、練習でやってきたことをすべて発揮し、1番良い歌声を響かせることができたので満足した。あさいち祭のおかげでクラスの絆がまた深まった。 さん

1組には負けたけど、納得のいく合唱ができました。有志では3分間全力で踊り続けて死ぬほど疲れたけど、ダンスの先生がサプライズで見に来てくれてとてもうれしく思いました。 くん

